

第6次境町総合計画（2019-2030）

（案）

2019年3月

茨城県 境町

ごあいさつ



境町長 **橋本 正裕**

本町では、2012年3月に10年間のまちづくりの計画として「第5次境町総合計画」を策定し、「前期基本計画（2013年～2017年）」に基づき、総合的かつ体系的なまちづくりを進めてまいりました。

現在、日本は少子高齢化と人口減少の進行、社会経済のグローバル化の進展、自然災害の頻発など、時代の大きな転換期に差し掛かかっています。本町では、2016年3月に「境町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、境町の人口の現状や圏央道境古河ICの全線開通といった社会環境の変化を踏まえ、喫緊の課題である人口減少問題に対応しながら、まちづくりに全力で取り組んでいます。

また、「平成27年9月関東・東北豪雨」では、本町でも死者1名、負傷者3名、床上浸水253戸、床下浸水253戸という甚大な被害が発生しました。このような被害を受けて、大学等の研究機関とも連携をしながら、あらためて災害時に町民の生命を守る仕組みづくりを進めているところです。

この「第6次境町総合計画」は、こうした本町を取り巻く環境の変化や「第5次境町総合計画 前期基本計画」の施策・事業の取り組みを踏まえ、将来のあるべき姿と進むべき方向性について基本的なまちづくりの方針として策定いたしました。

本計画を本町の最上位計画として位置づけ、目指す将来像として掲げる「河岸の歴史と自然の恵みあふれる、次世代を育む安らぎとイノベーションのまち 境」を実現させ、「境町に行ってみたい」「境町に住んでみたい」「境町に住み続けたい」と感じていただけるまちづくりに積極的に取り組むと同時に、町民の皆様の安全・安心な暮らしを支え、安定して地域経済が潤う持続可能なまちづくりに向け、社会、経済、環境等あらゆる分野の施策・事業を横断的かつ効果的に進めてまいります。

本計画の策定に際しまして、「住民意識調査」や「町民討議会」等により貴重なご意見やご提案をいただきました町民の皆様、総合計画審議会委員をはじめとする多くの皆様に心から厚く御礼申し上げます。

2019年3月